

危険物新聞

第 5 5 9 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会

編集人 松 村 光 惟
発行人

大阪市西区新町1丁目5番7号
四つ橋ビル

TEL 06(6531) 9 7 1 7・5 9 1 0

定価 1部 60円

創立50周年 記念式典開催

7月3日、リーガロイヤル堺で 特別功勞表彰42名、11団体に



孝石副知事より感謝状を受けられる鴻野理事長

財大阪府危険物安全協会では、創立50周年を記念し、7月3日(月)、リーガロイヤル堺において記念式典を開催した。

式典は、特別来賓の消防庁野平匡邦審議官、今仲康之危険物規制課長、大阪府孝石欣一副知事、樹野正蔵防災室長、河野陽一消防防災安全課長、大阪府下消防長会本城光一会長、伯井一雄衛生都市委員会委員長、財全国危険物安全協会宮腰正美理事長、兵庫、京都、滋賀、奈良、和歌山府県連会長、府各消防本部消防長

をはじめ、多数の来賓、並びに会員等約220名の出席のもと開催された。

午後3時、第1部記念式典が門春之副理事長の開会の挨拶に始まり、消防関係物故者に対して黙とう、鴻野眞太郎理事長の式辞、日戸力理事による「協会50年の経過」報告が順次おこなわれた。

大阪府知事、大阪府下消防長会会長、財全国危険物安全協会理事長より財大阪府危険物安全協会へそれぞれ感謝状の贈呈がなされた。

続いて、(財)大阪府危険物安全協会理事長により、特別功勞参与7名、元理事長1名に、特別協力者4名に感謝状が贈られ、また、永年功勞役員4名、永年功勞地区協会長16名、永年功勞地区協会11協会、永年勤続協会職員2名、永年勤続地区協会職員8名にはそれぞれ表彰状が贈られた。

次に、消防庁長官、大阪府知事、大阪府下消防長協会会長並びに、(財)全国危険物安全協会理事長の祝辞があり、受賞者を代表して有地重雄泉佐野火災予防協会会長の謝辞、三好治雄副理事長の閉会の挨拶で午後4時に終了した。

続いて第2部の懇親会に移り、鴻野理事長の挨拶のあと、50周年を祝する詩吟が入り厳粛な雰囲気の中、開宴となった。ご臨席の各界の関係者は終始なごやかな懇談のうちに6時頃、滞りなく終了した。

〔創立50周年記念 特別功勞者表彰〕

1. 理事長感謝状

〈特別功勞参与〉

▷藤田繁 (忠岡町消防長) ▷北田樹徳 (交野市消防長) ▷北浦忠 (富田林市消防長) ▷合川勝 (四條畷市消防長) ▷木村忠利 (箕面市消防長) ▷乃一大八 (池田市消防長) ▷高浦弘志 (貝塚市消防長)

〈元理事長〉

▷藤井政雄 (東大阪)

〈特別協力者 (講師)〉

▷去来川寛三 ▷三代澤康雄 ▷杉村喜久男 ▷三村和男

2. 表彰状

〈永年功勞役員〉

▷鴻野眞太郎 (理事長) ▷門春之 (副理事長)
▷石橋總太郎 (理事) ▷松村光推 (専務理事)

〈永年功勞地区協会長〉

▷石川照二 (箕面) ▷西口信明 (豊中) ▷奥田義三郎 (四條畷) ▷北村吉左衛門 (大東) ▷岩崎太郎 (東大阪) ▷丹司善男 (美原) ▷岸本豊 (富田林) ▷三好治雄 (堺高石) ▷丸昌讓 (堺高石) ▷片山公平 (堺高石) ▷植田重三郎 (堺高石) ▷北野茂 (堺高石) ▷澤博 (堺高石) ▷辻川恵三 (泉大津) ▷有地重雄 (泉佐野) ▷梶本茂夫 (泉南)

〈永年功勞協会〉

▷大阪市危険物安全協会 ▷高槻市火災予防協会
▷茨木市災害予防協会 ▷東大阪市防火協力会連絡協議会 ▷吹田市危険物安全協会 ▷八尾火災予防協会
▷堺市高石市防災協会連合会 ▷泉大津市火災予防協会 ▷岸和田市火災予防協会 ▷貝塚市火災予防協会 ▷泉佐野市火災予防協会

〈永年勤続協会職員〉


▷眞實修 ▷田中貴子

〈永年勤続地区協会職員〉

▷江崎聡祐 (摂津) ▷北村孝夫 (四條畷) ▷増井恵美子 (守口門真) ▷永井武 (大阪狭山) ▷葉山昭夫 (富田林) ▷奥野益男 (泉大津) ▷森田和成 (忠岡) ▷西川勝文 (泉南)

油濁環境対策を応援します。

多彩な油処理に 敏速・安全・強力に対応するαGel粉末油乳化剤 1000/1650 完成シート



※運搬容器式承認取得済

特長

- 常温で油・溶剤等を強力乳化し処理を容易にします。
- 揮発性溶剤の揮発を抑制するため、引火誘導を回避できます。
- 油だけを吸着・乳化し、水に沈まず、取扱を容易にします。
- 有害物質をきまず、無害で人体・生物体系に影響を与えません。
- 粉末タイプであらゆる状態の油に手軽に対応できます。
- αGelを特殊シート状に充填ムダな油垂れがなく油漏取りに最適です。

用途

- 危険物取扱安全対策、環境安全保全、環境汚染の防止。
- 貯蔵場所・油送パイプの亀裂から流出した燃料油・機油・廃油等。
- 工場で機油・床面飛散油等各種油の除去。
- 油水分離槽の浮上油分除去処理及び廃棄処理。
- 海・川面や地表に不測の油流出事故。

株式会社 **アルファジャパン**

東京都千代田区神田多町2-2-22
Tel.(03)3256-5131 Fax.(03)3256-6138

株式会社 **アルファジャパン東海販売株式会社**

名古屋市中区上名古原一丁目1番5号

Tel.(052)532-9045 Fax.(052)532-9038

H12年度安全管理論文優良賞

「春日出発電所の
防災体制について」

関西電力(株)春日出発電所
稲田 正昭

はじめに

春日出発電所は大阪平野の西方に位置し、淀川支流の安治川・六軒屋川に挟まれた長三角地点にあり、「おばけ煙突」の名が残る旧春日出第二発電所の跡地に、昭和38年10月新たに重油専焼火力として運用が開始されました。発電機は2機あって、1機の出力は156MW、計312MWの電力を市内に送電することができます。所員は96名、所内に常駐している関連会社員は58名です。

火力発電所は石油・LNG・石炭などを燃焼させて電気を作ります。すなわち危険物を原料として製品を作っている所です。従って危険物の管理については十分なる知識と経験が必要とされる職場です。春日出発電所で扱っている危険物は主に第4類の重油・軽油・潤滑油であり、揮発性の小さなものを扱っています。安全性からは恵まれてはいますが扱う量は大量です。5千klの重油タンク10基(現在4基運用中)で届出数量は5万klもあり、軽油は1基で届出数量は346klあります。春日出発電所は石炭法が適用されるコンビナート地帯に属すると同時に、発電所の至近距離に一般住宅があるという状況下にあります。万一、漏油・漏ガス・火災等を起こせば近辺の住民に大きな不安と危険を与えることとなりますし、二度と操業をさせて頂けなくなるかもしれません。それ故、所長以下所員一同、関連会社の人々、食堂の賄いさんに至るまで火

災等の防止に絶えず心を配っております。所内で働く人々の毎日の注意の積み重ねで、発電所の運用開始以来36年間、火災等の災害も起さずに発電業務を続けて来ることができました。

春日出発電所の防災体制

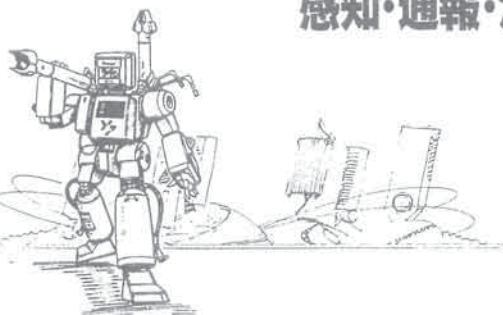
当然のことながら防災は「漏油に気を付ける」「火災を起こすな」と口でやかましく言っているだけでは効果は上がりません。「防災管理体制」がしっかりと確立されていることが必要です。そしてその意識が所内で働く全員にしみ込んでいなければなりません。そして、万一の発災に備えた防災設備等の充実、防災訓練の実施も必要です。以下、当所の防災管理体制、防災設備、発災時支援システム、防災訓練について述べさせていただきます。

1. 防災管理体制について

防災管理に直接関係のある所達・所則類は「予防規程」を始めとして10を越えており、それぞれの部所でそれ等に則って操作・作業・教育・訓練等を実施しております。ここではその所達・所則類の内容について述べませんが、例えば構内保安所則には火気使用(火花発生)の作業については所轄消防署への届出、作業手続、作業要領、作業時の遵守事項、防火対策等々、細かく規定して火災の発生防止に努めています。しかし、いくら細かく定めても、それらを守らなければ絵に書いた餅で何のたしにもなりません。それ等を守らなければならないという風土を職場に確立し継続していく必要があります。そのためには所長や防災関係の責任者である私を始めとして各管理者がしっかりとした認識を持ち、防災の前には妥協は許さないという姿勢が要求されています。



防災設備はさまざまな防災機器やシステムによる安全の構築です。
緊急防災メーカ・サポートシステムは「燃やさない・消さない」を安全確保のベースとして、ヒューマンインズのシステムで、目的に即した防災機器の研究・開発をおこなって完成させています。
* 防災にもっとも特長発揮するところのシステムは、センサー・カメラ・ビデオ



ヤマトプロテック株式会社

本社 〒537-0001 大阪市東成区深江北2-1-10 TEL.(06)6976-0701代 東京本社 〒108-0071 東京都港区白金台5-17-2 TEL.(03)3446-7151代

※ 防火設備・防煙設備・防音設備・防振設備・防虫設備

2. 防災設備等

管理体制を充実させ万一にも災害を発生させないように気を付けていますが、とはいえ阪神・淡路大震災のような自然災害や思いもよらぬことにより災害を引き起こすかもしれません。そのためには防災を想定し、防災設備の充実も必要です。それ等は法に定められている物を最低限として、可能な限り充実させなければなりません。

ここで春日発電所の消火設備を簡単に紹介させていただきます。

(1) 泡消火装置

重・軽油タンク、重油ポンプ室、ボイラーの重・軽油バーナー等油関係の防災に備えています。

(2) ハロン消火装置

発電機や主タービンの軸受の防災に備えています。

(3) 粉末消火装置

ボイラーの重・軽油バーナー付近の防災に備えています。

(4) CO₂消火装置

主タービン潤滑油タンクの防災に備えています。

(5) 水噴霧消火装置

変圧器の防災に備えています。

(6) 水幕装置

重・軽油タンクでの防災時、所外へ輻射熱が届かないように、発電所境界で遮断するためのものです。

(7) 消火ポンプ

電動消火ポンプと停電時のためのジーゼル消火ポンプがあります。

大きな設備としては以上ですが、これ等は自動作動かもしくは中央制御室から手動作動させることができます。その他に100型消火器、ABC消火器、ラインプロ消火装置、水消火装置等を所内各所へ配備しており

ます。当然のことながら漏油、漏ガス、火災等の検知器も関係各所に配備しております。

3. 防災時支援システム

当発電所は人間でいえば高齢期になっています。まだまだ現役で十分な発電能力があり、所員一同いつまでもお役に立つよう腕を磨いていますが、如何せんここ何年来の不景気で電気の売れ行きもあまり芳しくない、一昨年より夏場だけしか発電しなくなっています。最近ではIPPの参入、大口電力の自由化などの波にさからいがたく、本年4月から2号機は休止体制に入っています。それやこれやで所員の減員化は避けられず、特に当直員は少数となり、休日・夜間の防災体制は厳しいものとなってきています。そこで当直の初期防災活動(特に情報の収集・整理)を支援するために防災時支援システムを導入しました。予算の制約のなかで、可能な限りの機能を組み込むべく苦勞しました。

皆様のご参考のため、このシステムについて少し紹介させていただきます。これは春日発電所が関西電力の発電所の中で初めて導入したものです。(大型コンピュータ制御のものでは姫路第一発電所に設置されていますが)

中央制御室に入出力用のパソコンとプリンターが置かれており、守衛室にもプリンターを置いています。所内のどこかで異常現象が発生すれば、警報発信と同時にパソコン画面に表示されます。このシステムの主なる機能は帳票作製機能ですから、その機能について簡単に説明します。

(1) 進入経路図

防災を検出すればCRT画面に構内配置図を自動表示し防災場所が表示されます。当直員はその画面上に、発電所入口から防災場所までの消防車の進入経路をマウスで描き出力します。帳票は守

HATSUTA

株式会社 初田製作所

大阪本社 〒573-1132 大阪府枚方市堀江田3-5 TEL. (072)856-1281/10
東京本社 〒105-0012 東京都港区芝大門2丁目7 TEL. (03)3434-4841

原点はロスフリーベンションです。



ハツタは、あらゆるセーフティニーズにおこたえする企業をめざします。

頑固な夢がある。
そこにある。

衛所に出力され、守衛所員はそれを最初に来所した公設消防に見せ説明することにより、現場まで誘導しなくてもよいこととなります。構内配置図だけでなく、各建物、各フロア面も表示できますし、通路上での作業も表示でき、迂回経路を正しく示すことができます。

(2) 発災通知帳票

公設消防に正しい情報を通知することが目的ですが、マスコミからの問い合わせにお答えするための公式文書としても使用しています。発災の日時、場所、種別、燃焼物を自動表示し、規模は選択入力することとしています。

(3) 公設消防への引継帳票

発災の混乱時に現地指揮者である当直係長にすべての情報が正確に伝わりにくいし、また伝わったとしても正しく記憶できないので、帳票を作成することにより公設消防への指揮権委譲時の補助として使用します。これには日時、発災場所の周辺状況、二次災害の可能性の有無、消火活動状況、被害者の有無とその状態、発災設備の設備概要を自動表示あるいは選択表示します。

(4) 発災速報帳票

発災状況および消火活動等を速報とし保存するためのものです。その他にマスコミ対応や他所からの問い合わせにも大いに活用できます。これには日時、発災経緯、発災施設の周辺状況、二次災害の可能性の有無、消火活動状況、発災状況、出勤所員の状況、燃焼による発生ガス、要救助者状況を一部の手動入力を除き自動表示あるいは選択表示します。

(5) その他の機能

「発災速報(収束時)帳票」「発災履歴」「図面登録」等の機能があります。

4. 防災教育・訓練

ハード面をいくら充実させてもこれで十分だと言えません。やはり教育や訓練のソフト面の充実が必要で。当所では年度初めに下記の計画を立て防災意識の高揚を図り、そして万一の場合には一人一人があわてることなく各々の任務を遂行できるように鍛えています。

(1) 防災関係教育

- a. 此花消防署による防災保安教育
防災に係わる種々の教育をしていただきます。
- b. 役職者を対象とした防災保安教育
防災関係法令の教育。
- c. 各係別の防災保安教育
社外事故時の対応に関する教育。
- d. 此花消防署による消火機器取扱訓練
- e. 高圧ガスメカによる高圧ガス保安教育
- f. アンモニア取扱教育
同ガスの取扱者を対象とした教育。
- g. 燃料取扱教育
燃料取扱者を対象とした教育。
- * h. 入構者教育
新規入構者を対象として、作業の安全・防災に関する教育。* (随時実施)

(2) 防災訓練

- a. タンク火災合同防災訓練
北港地区共同防災組合、発電所自衛消防隊、協力会社が合同で年2回実施。
タンクヤードでの漏油・火災を想定します。
- b. 海上漏油合同防災訓練
上記三者が年2回実施、タンカーから揚油時の漏油・火災を想定します。
- c. 当直係による火災想定訓練
休日・夜間の発災を想定した訓練で各当直係が年2回、計10回実施。

空調設備機器製造・販売

オイルタンク用液面計
遠隔式警報ユニット液面計
各種液体タンク用液面計
フロートスイッチ・微圧スイッチ
タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全
ローコストを追求する

GIKEN

TEL 06(6358)9487(代表)



株式会社技研

〒530-0043 大阪市北区天満4丁目11番9号 工研ビル ☎0356-5407-8

- d. アンモニヤ漏洩事故想定訓練
各当直係が年 2 回、計10回実施。
- e. 救急訓練
非常時の救急救護に関する技能習得・向上を図っています。

以上のように多種多様な教育・訓練を実施しています。しかし、いつも同じ内容であれば飽きがかかりますし効果も上がらないので、常に新鮮なものを取り入れるように努力しています。

さて私が防災訓練について日頃考えていること、工夫していることについて述べてみます。防災訓練はそれを実施すること自体に多くの効果があります。いざ発災時には自分が何をすればよいか分かりますし、消火機器の取扱いにも習熟します。いざという時は体が自然に動いてくれます。しかしストーリー通りの訓練だけで本当に十分なのだろうか、何か不具合はないのだろうか、実際に発災した時、訓練通りに対処できるのだろうかと心配する時もあります。そこで当所の訓練効果を調査するため、抜き打ちの訓練を実施することとしました。一昨年、昨年と二回実施したのですが、所員には「来月抜き打ち訓練を実施する」としか知らせません。当然所長にも実施日・内容など何も言いません。防災担当である私と担当者と共同防災の所長だけです。一回目実施した時は多くの不具合が出ました。火災警報発信と同時に飛び出したり、消火班なのに防火服も着用せず現地に駆けつけたり、現地本部がよく分からなかったり、班長が出張等でいなく代理者が誰か分からなかったり等。しかし日頃の訓練が生きていたものもありました。初期消火班は全員ABC消火器を持ち現場に駆けつけたし、ホースの展張から放水までは素早かったし、本部と現地本部間の連絡体制もスムーズであった。一回目にしては、まあ良かったのではと評価しました。この訓練で分かった不具合はすべて対策をとりました。そして1年と少し経過してから2回目を実施しましたが、大きな不具合もなく終えることができ、合格点をいただけたと思っています。その他には、マスコミ対応を取り入れたり、休日・夜間を想定した近住者の呼び出し訓練、お客様を招待し訓練参加者の緊張感を高めたり等々、マンネリに落ち込まないように工夫しております。これからも基本を守りながら色々と工夫した訓練をしてゆく所存です。

これを以って春日出発電所の防災体制の紹介を終わります。最後に公設消防の皆様方の常日頃のご指導に表面をお借りして厚くお礼申し上げます。

第 2 回 危険物取扱者試験

10月22日(日)、近大で

(財)消防試験研究センター大阪府支部では、平成12年度第2回危険物取扱者試験を10月22日(日)、東大阪市の近畿大学で次のとおり実施する。

試験日	10月22日(日) ・乙種4類(午前・午後) ・甲種、4類以外の乙種、丙種(午後)
試験会場	近畿大学(東大阪市)
願書受付日	9月19日、20日、21日
願書受付場所	(財)消防試験研究センター大阪府支部 大阪市中央区谷町2-2-22、NSビル9F TEL06-6941-8430

※試験当日の集合時間は次のとおり
・午前……9時30分・午後……1時

【受験資格について】

- (甲種) (イ) 高専・短大及び大学で化学に関する学科又は課程を卒業した者。
(ロ) 高専・短大及び大学で、化学の授業科目を、15単位以上取得した者。(学生でも可)
(ハ) 乙種免状交付後、2年以上危険物取扱の実務経験者。
- (乙種) 受験資格の制限はありません。
(丙種) 受験資格の制限はありません。

【受験準備講習会受付は9月1日より】

受験準備講習会は、甲種、乙種4類、丙種について大阪、堺、枚方、東大阪、高槻など府下10会場で行なわれる。また、講習会受付は9月4日、豊中受付を皮切りに別掲(8頁参照)のとおり実施する。

なお、大学、高校及び各種学校の学生については、学生割引となるので、申込時に学生証を提示のこと。

【土・日コースは電話予約を】

土曜コース・日曜コース(両コース共、定員140名)は、希望者が多数のため、電話予約による受付を行っている。

受講希望者は、電話(06-6531-9717)で、9月19日までに予約されたい。(ただし、満席になり次第締切り)

6月の試験結果

消防試験研究センター大阪府支部では、平成12年度第1回危険物取扱者試験を6月18日、大阪府立大学で実施したが、その結果が7月14日に発表された。

試験区分別の合格率は次のとおりである。

区分	受験者数	合格者数	合格率(%)
甲種	441	194	44.0
乙種1類	121	93	76.9
乙種2類	156	116	74.4
乙種3類	120	95	79.2
乙種4類	5,000	2,054	41.1
乙種5類	171	128	74.9
乙種6類	198	150	75.8
丙種	1,035	554	53.5

消防試験研究センター大阪府支部 免状交付の流れ変更!

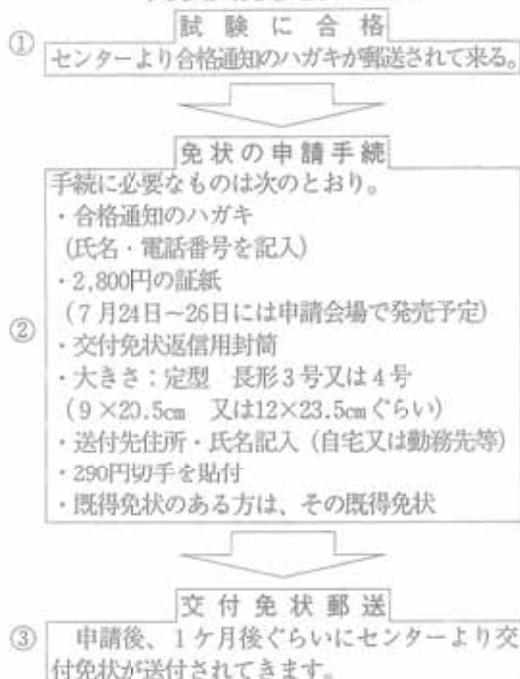
去る6月18日、大阪府立大学において平成12年度第1回危険物取扱者試験が実施され、7月14日(金)にその結果が発表された。合格者の免状交付方法については、従前は、交付申請すれば、その場で免状を交付(手渡し)していたが、今年度より変更となり、免状の交付申請手続終了後、後日(申請から約1ヶ月後ぐらい)交付免状が本人宛に消防試験研究センター大阪府支部より郵送されてくることとなった。

交付申請日時	7月24日(月)、25日(火)、26日(水) 9時30分～12時及び13時～16時30分 消防試験研究センター大阪府支部
申請場所	大阪市中央区谷町2-2-22、NSビル9F TEL06-6941-8430
免状交付(郵送)予定日	交付申請後、約1ヶ月

〔交付申請時に必要なもの〕

- ① 合格の通知書(交付申請書に氏名・電話番号を記入のこと)
- ② 大阪府証紙2800円(7月24日～25日、申請会場で発売予定)
- ③ 免状返送用封筒〔定形:長形3号又は4号(9×20.5cm又は12×23.5cm)ぐらいのもの〕1通に送付先、住所、氏名(自宅又は勤務先等)を記入し、290円分の切手を貼付のこと。また裏面には、左上部に受験番号、氏名を記入する。
- ④ 既得免状を持っている者は、現在持っている危険物取扱者免状

免状交付手続の流れ



時代をリードする
アクション&ハイテクノロジー

SUPER GYRO LADDER ACT
先端駆折はしご車 MLJS4-30
高所での消火・救助活動をサポートする
先端の折はしごは折す瞬間的に止まる

SUPER GYRO LADDER WT
水路付はしご車 MLGS4-30W
高所での消火活動に威力を発揮する
大背量取水の本路付はしご車



MURITA

NEW KOMBINAT SYSTEM

大型高所放水車
MQA2-22



大型化学車
MC-BC



省力化合格機種

泡原液搬送車

7544 8980 大阪市淀川区小島5-7-25番20号
Tel:06-6756-0110 Fax:06-6754-3461
東京 大阪 名古屋 福岡 仙台 富山 松山

危険物取扱者準備講習 ご案内

平成12年度第 2 回危険物取扱者試験実施に際し、受験者予備知識向上のため、次のおり受験準備講習会を開催いたします。

1. 日時・会場

種 別	講 習 日	時 間	会 場
甲 種	9月20日(水)、9月25日(月)、9月26日(火)	9時30分～16時	大阪府商工会館 (地下鉄本町駅17号出口スグ)
乙 種 4 類	1 期	9月21日(木)、9月22日(金)	大阪府商工会館
	2 期	9月26日(火)、9月27日(水)	大阪府商工会館
	3 期	9月28日(木)、9月29日(金)	堺市市民会館 (南海高野線堺東駅ヨリ 8分)
	4 期	9月21日(木)、9月22日(金)	北河内(枚方)府民センター (京阪・枚方市駅ヨリ約 5分)
	5 期	9月27日(水)、9月28日(木)	東大阪市民会館 (近鉄奈良線・永和駅ヨリスグ)
	6 期	10月 2 日(月)、10月 3 日(火)	高槻市消防本部 (JR・阪急高槻駅ヨリ 10分)
	土曜コース	9月30日(土)、10月 7 日(土)	9時30分～16時20分
日曜コース	9月24日(日)、10月 1 日(日)	9時30分～16時30分	大阪科学技術センター (地下鉄四ツ橋線本町駅ヨリ 5分)
丙 種	10月 2 日(月)	9時30分～16時30分	大阪府商工会館

(注) 甲種は 3 日間で、乙種(1 期～6 期)と土曜・日曜コースは 2 日間で 1 コースです。

2. 受付場所と受付日時

- ① 四ツ橋ビル以外は、本会より各所に係員が出張して受付しますので、時間内をお願いします。
- ② 各受付場所とも、各講習会場の受付数を割り当ててしていますので、満席の際は受付ができませんからご了承下さい。
- ③ 申込手続きは代理でも結構です。

受 付 場 所		日 時
豊中市消防本部内 (阪急宝塚線・豊中駅南へ 5 分)	豊中防火安全協会	9月 1 日(金) 午前 10:00～11:30
茨木市消防本部内 (JR・阪急茨木駅より 12 分)	茨木市災害予防協会	9月 4 日(月) 午前 10:00～11:30
東大阪市西消防署内 (近鉄・小阪駅北へ 6 分)	東大阪市西防火協会	9月 5 日(火) 午前 10:00～11:30
守口消防署 (地下鉄・守口駅前)	守口・門真防火協会	9月 5 日(火) 午後 2:00～4:00
岸和田市消防本部内 (南海・岸和田駅ヨリ西へ 10 分)	岸和田市火災予防協会	9月 6 日(水) 午前 10:00～11:30
堺市高石市消防本部内(南海・湊駅北へ 6 分・大浜南町)	堺市高石市防災協会連合会	9月 6 日(水) 午後 2:00～4:00
枚方寝屋川消防本部内(京阪・枚方市駅南へ 5 分)	枚方市・寝屋川市防火協会	9月 7 日(木) 午前 10:00～11:30
高槻市消防本部内 (JR・阪急高槻駅より 10 分)	高槻市火災予防協会	9月 7 日(木) 午後 2:00～4:00
四ツ橋ビル 8 階 (地下鉄・四ツ橋駅北北出口 2 号)	(財)大阪府危険物安全協会	9月14日(日) 3 日間とも 9月18日(月) 午前 9:30～午後 4:30 9月19日(火) (ただし、正午から 40 分間昼食休み)

3. 日曜・土曜コースの申込方法

日曜コース(定員140名)、土曜コース(定員140名)は電話(06-6531-9717)で予約受付、定員に達し次第締切。

4. 会 費

テキスト不要の場合は、甲種・乙種、各 2,000 円割引(テキストは平成12年度用改訂版を使用)

種 別	会 員	会 員 外
甲 種	16,800円	18,900円
乙 種 4 類	12,600円	14,700円
乙種(土曜コース)	13,650円	15,750円
乙種(日曜コース)	14,700円	16,800円
丙 種	6,300円	7,350円

(注) 1. 消費税込の料金です。

2. 大学、高校、各種学校の学生については、学生割引として会費は会員扱いとします。(申込時に学生証を提示すること)